



# Information8



厳しい暑さが続いています。いかがお過ごしでしょうか？  
今回は**避妊・去勢**についてです。

**避妊・去勢手術**は雌では卵巣および子宮の摘出、雄では精巣の摘出をする手術。

## 質問コーナー



避妊・去勢はした方が良いの？



子供を産ませないようなら、  
した方がいろいろな病気の予防に  
なるので、した方が良いです。



避妊・去勢するタイミングはいつ？



**生後6カ月ごろ、乳歯が全部抜けた状態**がベストです。  
1歳までに行うと問題行動である、マーキングやマウン  
ティングを抑えられます。健康なら何歳でも可能ですが、  
高齢になると麻酔のリスクや病気や問題行動の予防が  
できにくくなるので、早めにやりましょう。

避妊・去勢手術をする良さもありますが、悪さもあります。

## デメリット

手術後は代謝が減少するため**肥満**になりやすいです。  
そのためにも適度な食事と運動を心がけないといけません。  
**麻酔のリスク**があり、フレンチブルドックなどの短頭種は  
呼吸器の問題がおこりやすいです。



## メリット

計画性のない**繁殖**を避けることができます。  
**生殖器の病気**の予防ができます。(下記参照)  
性ホルモンに関連した**問題行動**を抑制します。



(スプレー行動、攻撃性が高くなるなど)



**子宮蓄膿症**

**乳腺腫瘍**

に気をつけて！！

### 子宮蓄膿症

子宮内に細菌感染が起こり、膿が溜まる病気。  
発情出血がみられた1～2か月後に多い。

**症状**…多飲多尿・尿量が多い・お腹が張る・膣からの分泌物の排出など

### 乳腺腫瘍

乳腺に“しこり”ができる病気。触診でわかる。  
発症率は全腫瘍の約30%でその約50%が悪性。初回発情前ならば、  
避妊手術をすると未避妊と比べて約90%以上予防ができる。



**精巣腫瘍**

**前立腺肥大**

に気を付けて！！

### 精巣腫瘍

生後約1ヶ月かけて精巣が陰嚢内に下降するが、そのままお腹に留まって  
腫瘍化してしまう病気。5～6歳以上の犬が多くみられる。

### 前立腺肥大

尿道周りにある雄の生殖器と前立腺が膨らんで尿道を圧迫させる病気。  
高齢の犬がなりやすい。**症状**…血尿・排便障害など

私たち人間が動物たちの未来を作ります。  
望まれない命を作らないよう、また病気にならないよう  
一匹一匹のことを思って飼っていきましょうね！

